

2014 年 5 月 30 日
日 本 銀 行

成長基盤強化を支援するための資金供給の実施結果

新規貸付の概要

	回号	貸付予定額	貸付 先数	貸付残高	貸付 先数
本則	第 16 回	4,172 億円	71 先	33,188.9 億円	120 先
A B L 等特則	第 12 期	313 億円	13 先	1,090.6 億円	28 先
小口特則	第 9 期	15.23 億円	22 先	93.02 億円	31 先
合計	——	4,500.23 億円	——	34,372.52 億円	——

(注) 貸付日は 2014 年 6 月 6 日。貸付残高は 2014 年 6 月 6 日時点の見込み。なお、貸付残高（本則）の内訳は、大手行 12,141.1 億円（10 先）、地域金融機関等 21,047.8 億円（110 先）。

	回号	貸付予定額	貸付 先数	貸付残高	貸付 先数
米ドル特則	第 8 期	1,999 百万米ドル	25 先	10,619.9 百万米ドル	43 先

(注 1) 貸付日は 2014 年 6 月 6 日（米国東部時間）。貸付残高は 2014 年 6 月 6 日（米国東部時間）時点の見込み。

(注 2) 新規の貸付 1 回当たりの貸付総額の上限（2,000 百万米ドル）を上回る借入希望があったため、按分処理を実施した。

借り換えの概要

(本則)

回号	第 12 回の借り換え (1 回目)	第 8 回の借り換え (2 回目)	第 4 回の借り換え (3 回目)
貸付予定額	2, 443 億円	1, 408 億円	3, 449 億円
貸付先数	66 先	72 先	86 先

(A B L 等特則)

回号	第 4 期の借り換え
貸付予定額	150 億円
貸付先数	6 先

(小口特則)

回号	第 5 期の借り換え (1 回目)	第 1 期の借り換え (2 回目)
貸付予定額	5. 53 億円	24. 81 億円
貸付先数	15 先	8 先

(米ドル特則)

回号	第 4 期の借り換え (1 回目)
貸付予定額	1, 362 百万米ドル
貸付先数	26 先

(参 考)

金融機関等による成長基盤強化に向けた取り組み状況

1. 個別投融資（第16回＜本則＞、第12期＜A B L等特則＞、第9期＜小口特則＞および第8期＜米ドル特則＞）の資金供給別分布状況^{（注1）}

（億円）

資金供給の種類	金額
本則	4,476
小口特則	94
A B L等特則	1,250
うち出資等	110
うち動産・債権担保融資等	1,139
合計	5,819

（百万米ドル）

資金供給の種類	金額
米ドル特則	12,305

2. 個別投融資（2010年4月～2014年3月＜本則^{（注2）}＞）の成長基盤強化分野別分布状況

（億円、括弧内は構成比）

成長基盤強化分野	金額	
研究開発	3,601	(5.2%)
起業	204	(0.3%)
事業再編	3,123	(4.5%)
アジア諸国等における投資・事業展開	5,852	(8.5%)
大学・研究機関における科学・技術研究	128	(0.2%)
社会インフラ整備・高度化	5,902	(8.5%)
環境・エネルギー事業	18,802	(27.2%)
資源確保・開発事業	1,018	(1.5%)
医療・介護・健康関連事業	12,653	(18.3%)
高齢者向け事業	1,908	(2.8%)
コンテンツ・クリエイティブ事業	426	(0.6%)
観光事業	2,219	(3.2%)
地域再生・都市再生事業	3,200	(4.6%)
農林水産業、農商工連携事業	2,545	(3.7%)
住宅ストック化支援事業	1,210	(1.8%)
防災対策事業	377	(0.5%)
雇用支援・人材育成事業	1,868	(2.7%)
保育・育児事業	387	(0.6%)
その他	3,696	(5.3%)
合計	69,116	(100.0%)

3. 個別投融資（2010年4月～2014年3月＜本則^{（注2）}＞）の期間別分布状況

（件数、括弧内は構成比）

1年以上 4年以下	4年超 10年以下	10年超 20年以下	20年超	合計	平均期間
8,658 (18.9%)	29,657 (64.7%)	6,182 (13.5%)	1,356 (3.0%)	45,853 (100.0%)	6.9年

（注1）本資金供給の本則（成長基盤強化を支援するための資金供給）は「第16回（2014年1～3月）分」、ABL等特則（成長基盤強化を支援するための資金供給における出資等に関する特則）は「第12期（2010年4月～2014年3月）分」、小口特則（成長基盤強化を支援するための資金供給における小口投融資に関する特則）は「第9期（2010年4月～2014年3月）分」、米ドル特則（成長基盤強化を支援するための資金供給における米ドル資金供給に関する特則）は「第8期（2012年4月～2014年3月）分」として、2014年4月1日から同4月16日までに提出され、成長基盤強化に向けた取り組み方針のもとで実行されたことが確認された「個別投融資実績」の分布状況。なお、本資金供給は、個別投融資実績の範囲内で貸付対象先が希望する金額に基づいて実施されるため、貸付予定総額と個別投融資実績の合計金額とは必ずしも一致しない。

（注2）本資金供給の「第1～16回＜本則＞分」として提出され、成長基盤強化に向けた取り組み方針のもとで実行されたことが確認された「個別投融資実績」の分布状況。表中の成長基盤強化分野の分類は、「貸出支援基金の運営として行う成長基盤強化を支援するための資金供給基本要領」の別紙1で例示された18の事業分野に基づいている。なお、「その他」には、外国法人のうち、国内居住者の連結対象子会社等への投融資で、国外において使用されるもの（同要領の別紙2中1.（2）に基づくもの）を含む。第1～16回＜本則＞分の個別投融資の単純合計であり、期日前返済や約定弁済等による減少を反映していない。

＜本件に関する照会先＞

実施結果関係

日本銀行金融市場局市場調節課

大塚（03-3277-1272）、中川（03-3277-1361）

「金融機関等による成長基盤強化に向けた取り組み状況」関係

日本銀行金融機構局金融モニタリング課

草野（03-3277-1582）、山邊（03-3277-2295）